

I. 2020年度 事業報告

2020年度は、通信制で学ぶ高校生を対象に、学業優秀、品行方正、且つ勉学意欲旺盛でありながら経済的な理由により修学が困難な者に対し、奨学援助を実施するとともに、奨学生に対しては、必要な指導・相談を実施した。

また、年1回発行していた機関誌「阿部育英基金だより」は、HPでの掲載とした。

2020年度の新規採用奨学生については、2020年12月2日開催の選考委員会で、応募者60名（内訳 男性20名、女性40名）の学業成績および経済状況等を勘案し、当初の計画通り25名（内訳 男性9名、女性16名）の採用を決定した。

奨学給付金については、新規採用者を含め75名に総額750万円の給付を実施した。

事業運営にあたっては、基本財産の運用収入確保および効率的な事業運営に努めた。期中に償還を迎えた共同発行地方債とオリックス社債については、その一部を楽天カード社債と東電パワーグリッド社債の購入に充てた。

奨学資金積立基金については、一般正味財産に対応する基本財産から4,500万円を繰り入れ、総額5,800万円としたが、600万円を取り崩す為、繰り越し額は5,200万円となった。

コロナの影響で、理事会・評議員会の通常開催ができなかったことにより賃借料や諸謝金など当初予算に比べ約47万円の支出減となった。この結果、当期収支差額は216万1千円となり、前期繰越収支差額と合わせた次期繰越収支差額は357万5千円となった。